

## 令和3年9月後半分青果物使用品名と産地(9/13～9/30)

### ～生産(地)の状況～

元来は夏野菜から秋野菜へと移行していく時期ではあるが、今年は8月期の長雨の影響が今尚残っており、夏野菜はそろそろ終わりを迎えようとしているが、秋野菜のスタートは遅れている。したがって、野菜の無い時期(間)は<sup>はざま</sup>が出てきそうである。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	さつまいも	九州産
3	人参	北海道産
4	キャベツ	県内・九州・群馬産
5	玉ねぎ	北海道産
6	もやし(小)	熊本市産
7	もやし(サリナス)	大分産
8	ピーマン	県内産
9	トマト	県内産
10	胡瓜	県内産
11	泥ごぼう	九州産
12	削りごぼう	宮崎・鹿児島産
13	細切ごぼう	宮崎・鹿児島産
14	ささがきごぼう	宮崎・鹿児島産
15	洗いごぼう	県内・鹿児島産
16	青葱	熊本市産
17	チンゲン菜	県内産

No	品名	産地
18	小松菜	熊本市産
19	にら	熊本市・県内産
20	パセリ	熊本市産
21	セロリ	長野産
22	レタス	長野産
23	洗いレンコン	熊本市産
24	白菜	長野産
25	大根	九州・青森・北海道産
26	なす	県内産
27	ニンニク	青森産
28	生姜	県内産
29	南瓜	北海道産
30	えのきだけ	長崎産
31	本しめじ	福岡産
32	冬瓜	九州・岡山・愛知産
33	巨峰	大分・福岡産
34	梨	熊本市産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

また、放射性物質検査対象地域については、証明書をいただいています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq/Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。

※巨峰については、9月15日使用分から、産地に福岡産が追加されます。